

会社案内

株式会社進め

Susumé

300回の洗濯でも
99.99%の殺菌効果が続く抗菌剤

AbedulAg+

ご挨拶

株式会社進めは、感染症が蔓延しない社会の実現を目指すVenture企業です。JETRO-米大学支援で開発した抗菌剤「AbedulAg+」は、加工繊維300回の洗濯で99.99%の殺菌力を継続維持します。

このことによって繊維上で細菌の増殖を食い止め、接触による薬剤耐性菌の伝播を遮断、感染症を予防します。繊維上の細菌が原因の臭いがなくなることによって間接的に効果を体感できます。アカディミアによる確かなエビデンスを背景とした、今までにはなかった新しい再加工不要の抗菌繊維の提案です。



代表取締役
櫻田 司

企業理念

存在意義が明確な
社会貢献企業を目指します

事業内容

テーマ：薬剤耐性菌による感染症のリスク軽減
加工商材：洗濯済みの繊維製品の加工に特化
販売商材：・継続性抗菌剤「AbedulAg+」
・抗菌剤加工装置(業務用洗濯乾燥機改造)
事業形態：ライセンスビジネス

会社概要

会社名	株式会社 進め
代表	櫻田 司 (sakurada@shincera.co.jp)
所在地	〒391-0213 長野県茅野市蓼科高原三井の森 しらかば平09-00-39
TEL	0266-71-6556 (090-1121-4167)
FAX	0266-76-2201
URL	https://www.susume-yatsugatake.com/
設立	2021年6月1日
資本金	1,000,000円
従業員	2人
事業	・継続性抗菌剤「AbedulAg+」の販売 ・抗菌剤繊維加工装置の販売
ビジネスモデル	License Business

会社沿革

2021.06.01	設立登記
2021.12.02	経産省モノづくり補助金交付決定
2022.06.01	JETROスタートアップ支援 (グローバル・アクセレーション・ハブBoston)
2022.07.18	スター★アトピッチJapan参加申込 日本経済新聞社主催
2022.07.19	新価値創造展オンライン出展申込 (中小企業基盤整備機構)
2022.07.22	諏訪信用金庫SUWASHIN地域応援 ファンド1号「SUWAの未来」投資決定
2022.08.10	・「AbedulAg+」商標登録済 ・国内特許出願 ・PCT出願
2022.09.30	長野県佐久市 SAKUメッセ2022出展
2022.10.12	医療と介護の総合展「東京」2022 感染対策EXPO東京 幕張展示場出展
2022.10.13	長野県諏訪工業メッセ バーチャル展示出展

販売商材

継続性抗菌剤「AbedulAg+」



特徴

- ① 耐洗濯性は洗濯300回
- ② 抗菌効果は99.99%継続
- ③ 細胞毒性がなく、安全性
- ④ 再加工不要、経済性が高い

抗菌剤繊維加工装置



特徴

- ① 自動化され操作が簡単
- ② 抗菌剤のロスがない
- ③ 原則アイロンがけ不要
- ④ 装置が堅牢で低価格

確かな エビデンス

特徴-1 300回の洗濯でも99.99%の殺菌効果が継続する

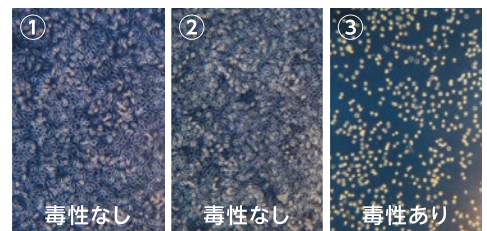
試料内容 黄色ブドウ球菌 N=3平均値	常用対数(細菌数)		抗菌活性値
	スタート時	18Hr後	
① 検体洗濯300回	30,900	4	5.7
評価機関のControl fabric	28,180	10,715,000	2.5

註)カケンテストセンター評価 繊維技術評価協議会洗濯基準で洗濯処理

特徴-2 安全性(細胞毒性) ①検体は細胞毒性がない

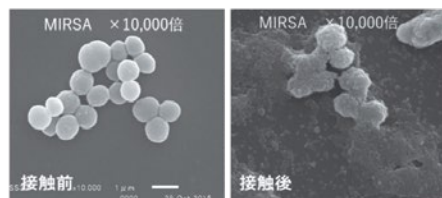
試料内容	Grade	Reactivity
① 検体試験液(加工)	0	None
② 陰性対象	0	None
③ 陽性対象	4	Severe

註)日本食品分析センター評価

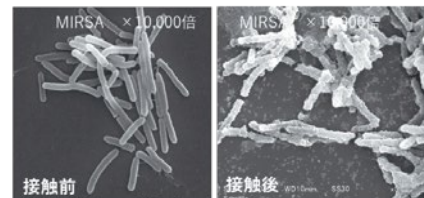


細胞毒性判定写真

特徴-3 「AbedulAg+」による細菌分解SEM写真



MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)



緑膿菌

「AbedulAg+」60分接触MIRSA分解電顕写真

註)国内外のアカディミアとの共著論文等詳しくはHPから見るができます。

薬剤耐性菌の脅威

- ・2013年世界で70万人/年が死亡(2050年1000万人/年と予測)
- ・2050年世界で100兆\$/年(1.2京円)の経済損失を予測
(The Review on Antimicrobial Resistance,2016)

米国の銀イオン(Ag⁺)許認可の動向

飲食施設・乳製品・食品加工施設で食品接触面の殺菌剤として銀イオン含有量を、処理した最終製品中50ppmを超過しなければ、食品中の銀の残留基準値の設定を免除。

註)2009年6月10日米国EPAは食品中の銀残留基準値の設定免除規則を公表。

日常生活の様々なシーンで期待される用途

病院・介護施設・ホテル・学校・食品工場・ペット・在宅療養・運動着・消防
電車・飛行機・劇場・学校・レストラン・軍隊・母子・警察・タクシー・企業・官公庁



期待される経済効果

MRSA院内感染治療費試算

22病院施設の集計結果（※感染率約5%・対象は約600床の病院 MRSA症例）

- ・治療のため余分な入院日数は66.07日/人
- ・388万円/1人66.07日間入院費用

一施設年間医療費は約22億5千400万円、日本国内全体では
年間約1兆4千億円と考えられている。

余分入院日数による
その他の損失

- ・免疫不全者
- ・市中感染リスクの増大
- ・家族の苦痛
- ・医療従事者の人件費と感染リスクの増大
- ・病院の信頼の失墜
- ・患者QOLの低下 社会的損失
- ・訴訟リスクの増大
- ・病院の収入減(収入の低い入院期間の増加)
- ・患者の苦痛

環境感染誌 Vo1.28 no. 5, 2013 小林寛伊・他5名
(東京医療保険大学大学院) より一部抜粋

Business Model

薬剤耐性菌による感染症はあらゆる地域、特に医療が脆弱な地方に必要とされます。予防技術を届けることは極めて重要です。疲弊している地域振興を図る視点からライセンスの条件として高齢者の雇用をお願いしたいと考えております。地域の高齢者が、世の中を震撼させている感染症に率先して貢献できる仕組み作りを目指します。繊維加工装置の操作の簡略化と低価格化、抗菌剤の低価格化を経産省のモノづくり補助金を得て開発、今後は各地域とのコラボによって業態の拡大を図るためLicenseeの募集を積極的に進め地域に貢献して参ります。



<https://www.susume-yatsugatake.com/>